



社会医療法人

公徳会

広

報

誌

こころとく

2020.10

Vol.54

特集

くぬぎ荘J棟 新築オープン コグニサイズ教室

シリーズ

コロナを考える うつ病予防と食生活について



日本医療機能評価認定病院
佐藤病院

理 念

- ・愛のある医療
- ・良識に基づいた医療
- ・公正、公平な医療

基本方針

- ・良質な医療の提供につとめます
- ・患者さま、利用者さま中心の医療を行います
- ・地域に立脚した医療を行います
- ・安全で安心と満足の得られる医療を提供します
- ・保健、医療、福祉の幅広い視点に立って健康を考えます

contents

■特集

くぬぎ荘J棟 新築オープン
コグニサイズ教室

■シリーズ

コロナを考える
部署紹介
うつ病予防と食生活について

■トピックス

野球部活動報告
ぶどう収穫開始セレモニー
若宮病院
You Tubeチャンネル開設
■外来受付予定表
■診療情報

表紙写真「彼岸花」／松田顕治



くぬぎ荘は、障がい者総合支援法における「共同生活援助事業」として位置づけられているサービスです。一般的にはグループホームとも呼ばれております。近年では、少子高齢化の社会情勢からグループホームという認知症グループホームの方が耳にする機会が多いかとは思いますが、グループホームには認知症の方が利用されるグループホームと障がい者が利用するグループホームの大きくは2種類に分けられております。くぬぎ荘は障がい者が利用するグループホームとなっております。さらに障がいの種類は身体・知的・精神の3種類に分けられており、くぬぎ荘ではその中でも精神障がい者の利用者を対象とした運営を実施しています。

くぬぎ荘の位置付け

法上の文言ではなかなかイメージしづらい方が多いとは思いますが、イメージ的には「精神障がいをお持ちの方のシェアハウス」のようなものと捉えて頂けるとイメージしやすいのではないのでしょうか？つまり、障がいをお持ちの方で共同生活が可能な方が、地域にある「シェアハウス」で基本的な生活はしつつ、必要に応じて世話人や生活支援員による食事や入浴、排泄などの日常生活上の支援が受けられます。また、日々の出来事などの相談にも対応するサービスを提供しています。さらに公徳会では母体となる佐藤病院（精神科）を中心に、周辺施設も充実しておりますので、くぬぎ荘利用

くぬぎ荘ではどんなサービスをしているの？





現在、少子高齢化は日本における大きな問題の一つとして様々な分野で取り上げられております。当然、障がい者施設においても同様に問題が深刻化しております。くぬぎ荘においても利用されている方の高齢化や障がいの重度化、保護者となるご家族の方の高齢化などで支援を得づらい利用者さまが増加しているのが実情です。公

くぬぎ荘J棟の新築計画について

者には医師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士などそれぞれ専門分野に特化した職種のスタッフから地域で生活していく上でのサポートを受けられる環境が整っており、そこが最大の魅力となっております。

徳会では、上記の問題には以前から取り組んでおり、近年新築したくぬぎ荘G棟、I棟については介護サービスを実施させるためにバリアフリー構造を取り入れ、サービス形態についてもより手厚い人員配置、24時間の支援体制の確保や常勤看護師の配置など充実したサービス形態を導入し、利用者が住み慣れた環境で、少しでも長く地域で本人らしい生活を送れるよう環境づくりに努めて参りました。今回、建設中のくぬぎ荘J棟についてもG棟、I棟と同様の内容を踏まえた施設を計画しております。さらなる充実を求め、夜間の支援体制強化（複数人の配置）、感染症対策に応じられる構造などを盛り込み、より整備された施設となります。今後も公徳会は精神障がい者の方が安心して地域で生活できる環境づくりに努めてまいります。



くぬぎ荘J棟

山形県南陽市桐塚908番地

主な居室面積

■敷地面積／2,014.03㎡ ■建築面積／534.86㎡ ■延床面積／495.88㎡ ■定員／20名
 ■各居室（1人部屋）：11.17㎡×20室、多目的室：9.93㎡×1室
 ■短期入所／9.93㎡×1室 ■トイレ／6.21㎡×4室 ■浴室／4.14㎡×2室

令和2年度南陽市一般介護予防事業「認知症予防教室」

近年、厚生労働省の発表によると、認知症である人の数は2012年の時点で462万人と推計されています。これは、高齢者と言われる65歳上の方の約7人に1人が認知症ということになります。2020年では約6人に1人、2025年にはさらに加速が進み、5人に1人が認知症高齢者になるのではないかと推計されています。

公徳会では、1986年に認知症老人病棟の整備から、県内第1号で承認を得た重度認知症患者デイケアの開設・拡大など長年にわたり認知症に携わってきました。昨今の認知症増加の社会情勢から“予防”の部分についても何か取り組めないかと検討をはじめ、国立長寿医療研究センターで、これまでの自治体等との連携の下で進めてきた研究からMCI（認知症ではないが正常とも言えない状態）の段階で、運動と認知トレーニングを組み合わせた『コグニサイズ』の実施が、認知機能の低下抑制に効果があることを明らかにしたという情報をもとに昨年からの『コグニサイズ』を用いた教室を開始することにしました。

Cognition（認知）＋ Exercise（運動）＝ Cognicise（コグニサイズ）

この『コグニサイズ』は、どこでもだれでも簡単にできることが特徴となっております。例えば、単純なステップ運動に3の倍数で拍手をプラスしたり、5人1組になってステップ運動をしながらしりとりをしたりといった内容となっております。出来る出来ないよりも適度な負荷を身体と頭にかけることを目的としており、複数人で課題にチャレンジし、間違ったらみんなで大笑いすることも認知症予防にはプラスと考えます。コグニサイズ専門の研修を受けたスタッフが指導にあたり、参加者の様子をみながら課題の難易度を調整します。課題が簡単に出来てしまっては、負荷が弱く、出来そうで出来ないぐらいの負荷が重要とされています。

また、もう一つの特徴として認知機能検査の実施が挙げられます。これも国立長寿医療研究センターが開発した検査で専門の研修を受講し、認定試験に合格しなければ実施できない検査となっております。この検査を教室の前後に実施し、教室の効果や現状の自分自身の認知機能を把握してもらい、今後の認知症予防のために役立ててもらうことを目的として実施します。決して認知症であるかどうかを検査するものではありません。

図1 認知機能検査項目

記憶力

「ことば」を
おぼえる能力

注意力

目標に意識を
向ける能力

実行力

視点をうまく
変える能力

処理能力

課題を素早く
達成する能力

今年の8月から公徳会では南陽市から一般介護予防事業として「認知症予防教室」の事業をこの『コグニサイズ』で受託することとなりました。今年度は、65歳以上で介護認定を受けていない方を対象に、週2回の14回で1教室としたものを3教室開催する予定です。興味のある方は下記問い合わせ先までお問い合わせください。

問い合わせ先

南陽市地域包括支援センター 南陽市福祉課介護業務係

〒999-2292 南陽市三間通436-1

TEL：0238-40-1646（直通）／ FAX：0238-40-3387



コロナを考える

第1回

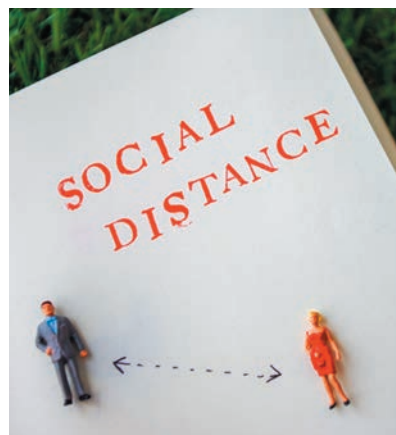
コロナ禍とフレイル（心身の衰え）



ていることでしょうか、感染を恐れるあまり極端な引きこもり生活を続けているのも健康にはよくないと思います。

とくに高齢の方の場合、外出自粛が続くことで、運動機能の低下を来し、転倒や骨折のリスクが増加すること、および認知機能の低下など、フレイル（心身の衰え）が問題となることが指摘されています。ある自治体において、高齢者の活動を、ウォーキングや水泳、筋トレなどの身体活動、囲碁や手芸、園芸、料理などの文化活動、ボランティアなど地域活動の3つに分類し、各活動の有無とフレイルの関連性を調査した結果^①が昨年公表されました。全ての活動

に取り組む方と、何も参加しない方との比較ではフレイルのリスクに（オッズ比で）約16倍の差が生じたのです。また身体活動だけに取り組んでいない方は、運動には取り組んでいないが文化活動と地域活動に取り組んでいた方よりフレイルのリスクがむしろ高いという意外な結果も得られたのです。この結果が誰にでも当てはまるとは限りませんが、コロナ感染を恐れ、それまで仲間と楽しんでたスポーツや趣味、ボランティアなどを止めてしまうことで、人生の楽しみが減るのみならず、老化が進んでしまう事態は避けたいものです。



うな交流活動が可能となればそれに越したことはありません。しかし、感染リスクの高い方にとっては不安が残ることもありそうです。そのような場合、特に期待されているのはスマートフォンなどを用いるIT技術の分野です。例えば、今まで囲碁クラブに行って仲間との対局を楽しんでいた方が、感染防止のため囲碁クラブへ行くのを自粛したとしても、ネット環境を整えれば、再び仲間との対局を楽しむことが可能となることでしょう。感染を防ぐことは大切ですが、このシリーズではコロナ以外で健康を損なうこと、そして人生の楽しみを失ってしまうことを避けるためにどうしたらいいのかを考えていきたいと思います。

さて、新型コロナウイルスを防ぐために重要とされるのは、**1**三密（密集、密閉、密接）を避ける、**2**マスクを適切に着用、**3**手洗い、**4**というの皆さんもよくご存じのことでしょう。三密を避けるため、多くの方が従来の社会生活活動がある程度控えるなどの配慮をされ



今後、感染防止と他者との交流を両立させるため、様々な工夫が考えられることでしょう。適切な感染対策を行うことで、従来のよ



若宮病院
院長 長谷川 朝穂

① 吉澤裕世、他 地域在住高齢者における身体・文化・地域活動の重複実施とフレイルとの関係. 日公衛誌. 2019.66.306-316

部署紹介

総務部

総務部紹介

総務部は公徳会全体に係わり、業務も多機にわたるため4課・1室に分かれ、その外に学童保育施設・院内保育所の運営も担当しています。通常の業務のほか、法人内の会議や夏祭りなどのイベントも本部が主に担当しており地味ではありますが公徳会を裏から支えています。

総務課

職員の福利厚生や法人の窓口業務、電話受付、会議設営などを担当しています。管理業務が中心になるため期日管理と事前の準備が大切になりますが、仕事に抜けがないよう課内で情報を共有し、互いにチェックしながら仕事をすすめています。

管財課

縁の下の力持ち的存在として現在職員3名で南陽・山形・米沢市の広いエリア内各施設を担当し、病院建設から造成工事、改修工事、災害対応、車輛管理、果てはネジ1本の修繕まで多岐にわたる業務を行っています。地域を愛し地域

に愛されることを目指している公徳会、当課はこれからもその一助に貢献していきたいと思っています。

業務支援課

管理者1人、パート49人の構成です。業務内容は清掃（南陽施設・米クリ・若宮）・送迎車運転（南陽）・病棟受付（南陽）の業務となり、その中に障がい者雇用5名（精神・身体）を受け入れており、社会貢献活動もしています。平均年齢が一番高く、人生経験も豊富な部署です。安全安心の送迎運転・綺麗な施設清掃業務にと励んで働いています。

購買物販課

購買・物販課は日用品・診療材料等の消耗品や消耗備品の発注・購入・在庫管理を中心に行っています。

また、佐藤病院・若宮病院・米沢こころの病院の売店も運営しています。常に現場の方を最優先に考え、出された要望に迅速な対応ができるよう3人で役割分担をして業務に取り組んでいます。着手小局を常に念頭に置き、業者との情報交換もしっかり行い、経費削減の継続にも努めております。

IT室

当部署は文字通り、法人内のシステム全般を担当しております。メインフレームとなる電子カルテのメンテナンスを始め、各種システム開発やハード設置、メンテナンス、ヘルプデスク等が日々の業務です。人員は2名と少ないですが、遠隔地の端末はリモート操作にてメンテナンス等を行っています。医療・介護・福祉業界においてもITの進化は目まぐるしく、いち早く情報をキャッチし法人内で活用すべく取り組んでおります。

宮内学童保育施設

宮内学童保育は、保護者の労働や疾病などで適切な保育を受けられない宮内小学校の児童を対象に預かりする施設です。現在利用者が多く、第一学童・第二学童に分かれており、第一は2年生から6年生までの児童を現施設で、第二は小学校内の教室（いちようキッズルーム）で1年生のみ保育しています。子ども達は施設に通所すると、宿題や鬼ごっこ、ブロック、ぬり絵などいろいろな遊びをして過ごし、保護者のお迎えを待ちます。

院内保育所

公徳会に就労している職員のための施設で、産休明けの生後8週から満4歳までの乳幼児が利用できます。利用している職員が安心して勤務できるように、また乳幼児の健やかな心身の育成を図ることを目的として運営しています。保育所内の園庭では四季折々の草花や虫たちが豊富で、とても自然が身近に感じられる場となっています。子ども達は毎日のようにじつくりと自然に触れながら、驚きや発見の喜びの笑顔があふれ、友達同士かかわりあいながら楽しく過ごしています。



うつ病予防と食生活について



夕暮れも早くなり、なんとなく憂うつだな、悲しい気分だなと感じる日もあるのではないだろうか。日照時間が短くなる秋から冬にかけてのこの時期はうつ症状が出やすい季節です。日光を浴びると体内では『セロトニン』という神経伝達物質が分泌されます。セロトニンは幸せホルモンとも呼ばれ、精神を安定させて心のバランスを整える役割を果たすので、うつ病の予防につながります。セロトニンの分泌を増やすためには太陽光だけでなく、睡眠や運動、そして食生活が大切になります。そこでセロニンの原料となるのが必須アミノ酸の1つであるトリプトファンです。トリプトファンは体内では作ることができないため、タンパク質を含む食材をきちんと摂取しましょう。

発酵食品とは
味噌 醤油 めか漬
キムチ 納豆
ヨーグルトなど

最近では腸と脳は密接に関連していて、腸内環境を整えることがストレスに負けない体をつくると言われていています。発酵食品を積極的にとって腸の中の健康保つことが大事です。

トリプトファンを多く含む食材
肉 魚 チーズ 牛乳
大豆製品 卵 バナナ

トリプトファンをセロトニンに合成する栄養素として
ビタミンB6▽かつお まぐろ
玄米 にんにく バナナ
鉄分▽ほうれん草
小松菜 赤身肉
貝類

食生活など
生活習慣の
改善

←

うつ病の
予防

栄養バランスの良い食事を規則正しく取ることが基本で、生活習慣病になりにくい食事や運動習慣がそのまますうつ病の予防につながります。



佐藤病院栄養科
管理栄養士
小関智美

収穫の秋、食欲の秋、食べ物が何でも美味しく感じられる季節になりました。今回は『里芋』についてお話ししたいと思います。里芋ですが、里芋は根のように見えて実は茎が肥大したものだとご存じでしたか。里芋は水分が多いのでイモ類の中でも力口リイがとて低くヘルシーな食材です。栄養素で特に多く含まれるのはカリウムと食物繊維で、高血圧や心疾患予防、肥満予防の効果があります。また、独特のぬめりはガラクトンと呼ばれる食物繊維の一種で、ガン予防などの免疫力を上げる効果や胃や腸の粘膜を保持し、血糖値の上昇を抑える働きがあると言われています。調理する際にぬめりを洗い流してしまうと、せっかくの効果が半減してしまいもったいないので、皮をむいてそのまま煮ると良いようです。じやがいもの代わりに里芋で作ったコロッケや山形の秋の名物料理『芋煮』で里芋を味わってはいかがでしょう。

おすすめの食材

旬の





公徳会佐藤病院 野球部 活動報告

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で4月・5月と野球部の活動を自粛していました。6月より活動を再開しましたが、国民体育大会をはじめ、多くの大会が中止となり、県内2大会と全国大会も天皇賜杯のみの開催となります。この状況の中で野球ができる環境に日々感謝し、残りのシーズンを精一杯戦って参りますので応援宜しくお願い致します。

第36回山形県軟式野球クラス別選手権大会（A）

令和2年7月4日に酒田市で開催されました第36回山形県軟式野球クラス別選手権大会（A）に出場しました。山形県内Aクラス3チームの総当たりで佐藤病院野球部が2勝し、大会8連覇を達成致しました。

第一試合	TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
	キングドルフィン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	公徳会佐藤病院	1	0	0	0	0	0	1	×	2	

第二試合	TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
	ビーチボーイズ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	公徳会佐藤病院	0	0	0	1	1	0	0	×	2	

天皇賜杯第75回全日本軟式野球大会 兼 第90回山形県社会人軟式野球大会

令和2年8月22日～23日に山形県野球場で開催されました第75回全日本軟式野球大会兼第90回山形県社会人軟式野球大会に公徳会佐藤病院野球部が出場致しました。

22日の1回戦、西東北日野自動車と対戦し、10-2の7回コールドで勝利。翌日の準決勝では、同じ米沢地区でAクラスのキングドルフィンと対戦。6回の攻撃で一挙7点を挙げ、0-10で勝利。続く決勝戦では、酒田地区代表のビーチボーイズと対戦し、先発したエース後藤孝幸が7回まで1人のランナーも出さずにパーフェクトピッチング。惜しくも8回にセンターへのヒットを許すも1安打完封で完璧に封じ込め6-0で勝利しました。

1回戦	TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
	西東北日野自動車B・C	0	0	1	0	0	0	1	2
	公徳会佐藤病院	2	0	2	5	0	1	×	10

最優秀選手賞
▶大泉真央（総務部）
打撃賞
▶谷口 聡（かけはし）

準決勝	TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
	キングドルフィン	0	0	0	0	0	0	0	0
	公徳会佐藤病院	0	2	1	0	0	7	×	10

決勝	TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
	ビーチボーイズ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	公徳会佐藤病院	1	0	0	3	0	0	2	0	×	6



今大会の結果により、大会8連覇を達成し、10月31日より岡山県倉敷市で開催される天皇賜杯第75回全日本軟式野球大会ENEOSトーナメントへの出場権を獲得しました



ぶどう収穫 開始セレモニー

令和2年7月20日(月)にふれあいファームにて今年で11年目となる「ぶどうの収穫開始セレモニー」が執り行われました。

園内でのセレモニーということで暑さの厳しい中でしたが、佐藤忠宏理事長より労いのお言葉を頂き、利用者様は、充実感と達成感に満ち溢れていました。

今年は例年より3日程遅い収穫となりましたが、入院されている患者様をはじめ、公徳会資源をご利用されている方々にもご賞味頂きますようお願いの時期まで各施設に配達致しました。なお、各施設



のプログラムの一環として「ぶどう狩り」も実施し、採れたて新鮮な果物と一面に実ったぶどう園を堪能して頂く予定です。

ふれあいファームでは、地元南陽市の遊休農地を有効利用し、特産のぶどう栽培を実施しております。専門知識を持った指導員のもとで、就労支援センターの利用者が作業に取り組んでおります。

若宮病院

YouTubeチャンネル「若宮病院ハッピーチャンネル」開設

NEWS!



若宮病院では令和2年7月1日にYouTubeチャンネル「若宮病院ハッピーチャンネル」を開設しました。

精神疾患、依存症、発達障害、認知症、子どもの心の悩み、メンタルヘルス等に関する情報を発信していきます。

医師や看護師、作業療法士、精神保健福祉士、公認心理師、管理栄養士など病院で働く様々な職員が登場します。病院で働いている職員のことも知っていただき、当院をより身近な存在として感じていただければ幸いです。

これからもご視聴いただいた方のためになる、有益な情報を発信できるように制作していきます。ぜひ、YouTubeをご覧いただき、グッドボタン、コメント、チャンネル登録をいただくと励みになります。

ホームページ、Facebookでも更新情報やほかの活動等についても発信していきますのでこちらでもご覧いただければ幸いです。

YouTubeチャンネル ▶



Face Book ▶



外来受付時間・担当医師予定（10／1～）

【佐藤病院】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30～11:30	佐藤忠宏 沼田由紀夫 直長康子	澤村一司 渡部 亮 岩本康夫	武吉健児 直長康子	沼田由紀夫 文 鍾玉	澤村一司 渡部 亮		
午後1:30～4:30	武吉健児	岩本康夫	薛 陸景	岩本康夫	薛 陸景		
専門外 来制	午前 8:30～11:30	沼田由紀夫（アルコール）	澤村一司（もの忘れ）		澤村一司（ストレス） 渡部 亮（発達障害）		
	午後 2:00～4:00	武吉健児（ひきこもり）		岩本康夫（依存症）	齋藤卓弥（隔週）（児童思春期） 須山 聡（隔週）（児童思春期） 薛 陸景（食べ過ぎ・肥満）		

【若宮病院】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30～11:30	阿部詔子 奥山有里子	阿部 淳	長谷川朝穂 日向正光 石田留生	田中 武 石井玄樹	日向正光 奥山有里子	長谷川朝穂 田中 武	
午後1:30～4:30	日向正光 石井玄樹	永田真一 阿部 淳（第1・3・5週） 阿部文恵	奥山有里子 阿部詔子				
専門外 来制	午前 8:30～11:30	永田真一（児童思春期）	田中 武（アルコール）	成重竜一郎（児童思春期）	成重竜一郎（児童思春期）	長谷川朝穂（うつ）	
	午後 1:30～4:30	成重竜一郎（児童思春期）	成重竜一郎（児童思春期）	石井玄樹（児童思春期）		阿部詔子（もの忘れ） 永田真一（児童思春期）	

【米沢こころの病院】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30～11:30	御供正明 大土広将	竹内幸宏 大土広将	御供正明	中尾友宣 荒井亜佐美	御供正明 中尾友宣		
午後1:30～4:30	竹内幸宏 富田 裕	富田 裕	中尾友宣 石田留生	富田 裕	竹内幸宏 荒井亜佐美		
専門外 来制	午前 8:30～11:30	大土広将（アルコール）	竹内幸宏（ストレス）	中尾友宣（もの忘れ）			
	午後 1:30～4:30	富田 裕（うつ）		成重竜一郎（児童思春期）			

【米沢駅前クリニック】

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～11:30	中尾友宣	直長康子	大土広将 渡部 亮	武吉健児	沼田由紀夫	当番医	
午後3:00～4:30	岩本康夫	澤村一司	岩本康夫		富田 裕		
専門外来 予約制 午前9:00～11:30						須山 聡（第1・3週） （児童思春期）	

【トータルヘルスクリニック】

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30～11:30	川合厚子（内科）	川合厚子（専門外来）	川合厚子（内科）		川合厚子（内科）		
内科 予約制 午後2:30～4:00		川合厚子（専門外来）					

※各施設担当医師については変更になる場合もありますのでご確認ください。
※診療及び、各種お手続き等に関するご相談・お問い合わせは以下の各病院、医療福祉相談室で受け付けいたします。
■佐藤病院 ▶ TEL.0238-40-3170(代) ■若宮病院 ▶ TEL.023-643-8222(代) ■米沢こころの病院 ▶ TEL.0238-27-0506(代)

診療情報（令和2年度）

【佐藤病院】

		7月	8月	9月	平均
外来件数（一般外来）	1日平均	73.7	78.0	72.7	74.8
（うち、時間外外来受診件数）	月件数	11	13	10	11.3
入院者数【総ベッド数156床】	1日平均	138.8	143.8	134.4	139.0
入院件数	月件数	38	36	23	32.7
（うち、措置・応急入院件数）	月件数	10	9	2	7
退院件数	月件数	33	40	32	35.0
平均在院日数		99.8	98.3	102.7	100.3
（うち、救急病棟平均在院日数）		76.6	73.7	77.4	76.2

【米沢こころの病院】

		7月	8月	9月	平均
外来件数（一般外来）	1日平均	62	61.6	62.1	61.9
（うち、時間外外来受診件数）	月件数	6	17	10	11
入院者数【総ベッド数108床】	1日平均	110.0	109.4	100.8	106.7
入院件数	月件数	21	31	24	25.3
（うち、措置・応急入院件数）	月件数	5	5	3	4.3
退院件数	月件数	27	30	34	30.3
平均在院日数		116.8	103.1	105.6	108.5
（うち、救急病棟平均在院日数）		67.7	63.7	68.5	66.6

【若宮病院】

		7月	8月	9月	平均
外来件数（一般外来）	1日平均	65.8	66.6	65.1	65.8
（うち、時間外外来受診件数）	月件数	14	23	15	17.3
入院者数【総ベッド数153床】	1日平均	132.7	132.3	132.3	132.4
入院件数	月件数	40	30	26	32
（うち、措置・応急入院件数）	月件数	6	2	3	3.67
退院件数	月件数	40	32	29	33.7
平均在院日数		125.9	120.2	123.7	123.3
（うち、救急病棟平均在院日数）		65.6	61.3	64.6	63.8

記載内容につきまして、ご意見・ご質問・ご感想等ございましたら、下記までご連絡ください。

公徳会 広報誌 こうとく No.54
令和2年10月16日発行 発行 社会医療法人 公徳会
編集 公徳会広報委員会
〒999-2221 山形県南陽市柊塚948-1
TEL.0238-40-3170 / FAX.0238-43-2076
✉ sato-hp@koutoku.or.jp 🌐 http://www.koutoku.or.jp